

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年2月10日

所属・職名	商経学部・教授	氏名	内海幸久
研究課題	コミュニケーションロボットの作成・社会現象の数理解析		
研究 キーワード	人工知能・数理解析	当年度計画に 対する達成度	4.当初の計画どおり研究 が進まなかった
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>(1) 窓口業務 AI については、キャリア支援センターからデータの協力を得て詳細分類を試みた。</p> <p>(2) コミュニケーションロボに関しては、昨年度と同様の成果。</p> <p>(3) SOTA を活用したプロジェクトは昨年度と同様の成果。</p> <p>(4) 自然言語処理 AI については、(1)の実装に CNN や注意機構, transformer などを用いるなど実装面での成果を挙げた。ただし、新しい発見は無い。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>「ニューラルネットワークによる数量化理論 I 類の考察」(2019) 千葉商大紀要 第57巻第2号</p> <p>3. 主な経費</p> <p>SOTA の音声ライセンス更新と機械学習用 PC の作成に利用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>なし</p> <p>(本文は<u>1ページ以内</u>にまとめること)</p>			